



新見市男女共同参画情報紙

りぼん

vol.34
2022.8



「男女共同参画川柳 作品紹介」

市報にいみ5月号などで男女共同参画川柳を募集したところ、196点の作品を応募いただきました。多数のご応募ありがとうございました。

今回のりぼんでは、応募していただいた作品のうち、りぼん編集委員が選出した作品を紹介します。



それいいね！ 十人十色 認め愛



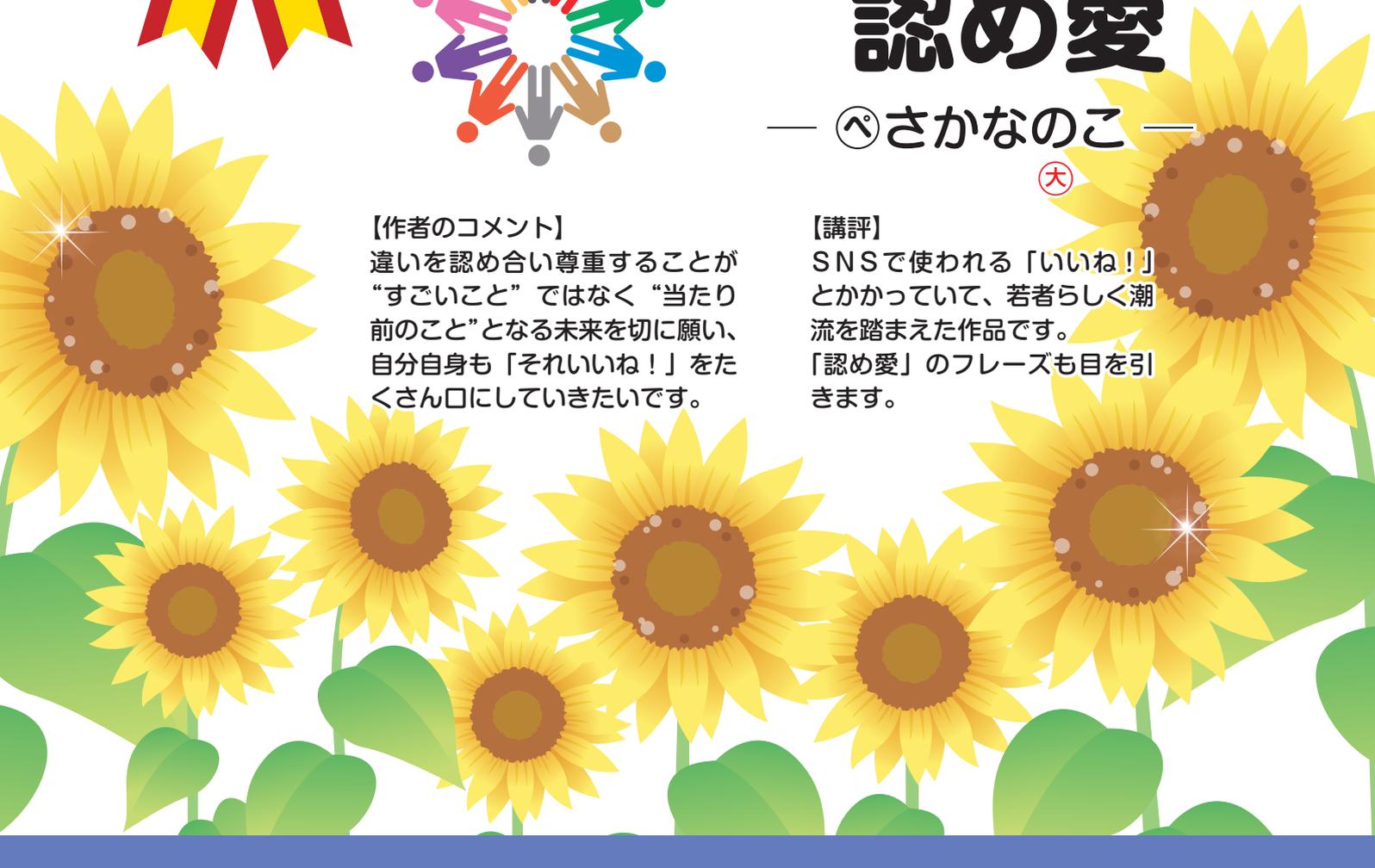
— ㊦ さかなのこ ㊦
㊦

【作者のコメント】

違いを認め合い尊重することが“すごいこと”ではなく“当たり前のこと”となる未来を切に願い、自分自身も「それいいね！」をたくさん口にしていきたいです。

【講評】

SNSで使われる「いいね！」とかかかっていて、若者らしく潮流を踏まえた作品です。「認め愛」のフレーズも目を引きます。



作品を紹介します!

優秀賞

縦と横
プラスに交わる
和の職場

— 船越 一郎 —

優秀賞

定年後
名もなき家事の
多さ知る

— 真壁 雅樹 —

優秀賞

産むは無理
だけど育児は
パパ可能

— 真壁 清子 —

入選作品

更衣室
男子はなくて
女子はある (中)

— ◎ やっぺー —

お互いが
持ちつ持たれつ
家事育児 (中)

— ◎ S.H —

二人して
作る料理の
美味きこと

— 角田 容子 —

私にも
作ってほしい
家事休暇

— ◎ 文ちゃん —

不器用な
父の料理も
懐かしく

— 櫻井 耀 —

男子でも
家事ができたら
かっこいい (中)

— ◎ くも —

なんだっけ
認知症まで
忘れてる

— 田口 栄次 —

この思い
恋したあの子は
同性の子 (中)

— ◎ ネコ —

介護には
あると助かる
皆の手

— 村下 淑恵 —

美しく
女子も男子も
輝こう (中)

— ◎ パニラ —

優秀賞と入選



青赤と
区別しないで
自分色 ㊦
—杉本 夏実—



家事育児
夫婦で挑む
二刀流 ㊦
—㊦ 川柳太郎—



青と赤
男女らしさに
黄信号
—定岡 豊秋—



やっときた
女子にもスラックス
差別なし ㊦
—田邊 花恋—



入選作品



一人一人
ちがった色を
持っている ㊦
—関口 圭吾—

男だから？
痛くないってことは
絶対ない ㊦
—㊦ ネイティブアメリカンマサイ族—

日課だよ
手慣れたものさ
抱っこひも
—㊦ イクメンパパ—

幸せは
妻の居ぬ間の
昼寝かな
—土井 茂—

育休の
パパ大活躍
惚れ直す
—田口 栄次—

「当たり前」
正しいのかな
その言葉 ㊦
—浅井 健佑—

これからは
男女きょう同
助け合い ㊦
—井上 大輔—

お父さん
ウキウキしながら
家事をする ㊦
—㊦ をけん—

女子ですが
さらばスカート
ハイヒール
—櫻井 耀—

パパママの
助け合う背
子の手本
—角田 容子—

紙面イメージ：イタリア映画「ひまわり」

第二次世界大戦に引き裂かれた夫婦の悲恋の物語です。
劇中に出てくる美しく広大なひまわり畑は、ウクライナで撮影されました。
ウクライナの国花であるひまわりに平和への祈りをこめて。





その他の応募作品を紹介



作者名(ペンネーム)は省略させていただきます。

- 老いてから若者と暮す
ありがたさ
- 子育てで自分に無いのは母乳だけ
- 待ちかねた男の舞台
家事育児
- 男の子
だけど指差す
雛人形
- お父さん
エプロン似合う
ハイポーズ
- ばあちゃんっ子
コロナで減少
危惧種入り
- 人生は
普段が大事の
積み重ね
- 母の味
妻に教わる
目分量
- 核家族
子供も参加
家事分担
- ジジババの
協力子育て
勤めでき
- ゆずられる
席嬉しくも
又さみし
- 又一つ
年をかさねて
背は縮み
- 主婦業も
定年ほしい
令和の世
- 男子でも
食器洗い
できるはず
- 自分をね
かくさなくても
大丈夫
- 力なさすぎ
男でも力あるやつ
ばかりじゃない
- 誰だつて
好きな自分に
なれるのだ
- いつ終わる
コロナ感染
菌共存
- 分業で
夫婦センター
金婚環
- 女子マラソン
女性白バイ
先導車
- 嫁ぐため
職を捨てしを
今悔ゆる
- おいしいよ
男孫の作る
グラタンは
- 北欧の
あの国みならえ
あの国を
- 古いのね
セーラー服と
詰襟は
- 妻家内
嫁ワイフこれ
名はいくつ
- 性別で
潰しちゃいけない
その個性
- 「男なら」
「女ならば」は
もっ古
- 男女みな
人で仲間
友達で
- がんばろう
手と手をつないで
支えあい
- 関係ない
そう思わずに
考えよう
- おそれずに
自分の色を
出してみよ
- 気づいたら
エプロン着てる
お父さん
- 「不安だな」
聞いてあげよう
その言葉
- おとうさん
気づいてみると
メシつくってる
- 女の子
制服ズボン
似合っはす
- 花畑
自分の個性
輝かす
- やつてみよう
新しいこと
挑戦だ
- LGBT
否定せず
応援しよう



たくさんのご応募ありがとうございました

大賞受賞者の声

この度は大賞をいただき誠にありがとうございました。賞をいただけたらと思っていなかったのが驚きました。同時に、日頃からお世話になっている新見市に恩返しが出来たように感じ、大変嬉しく思っています。

作品作りでは、ユーモアもありつつ、聞いた人の耳に残るよう意識しました。ゼミの先生に勧めてもらい応募しましたが、川柳を通して男女共同参画について見つめなおすよい機会となりました。

編集後記

編集委員 前原 昇路

今号では、約6年ぶりに男女共同参画川柳を募集したところ、たくさんのご応募をいただきました。前回の募集時は、家事や育児に関する作品が多かったなかで、今回は多様性の尊重や性差を意識した作品が多くありました。なかでも、それらを「色」で表現した作品が目を引きました。時代の変化とともに、「十人十色」の価値観は、より一層大切になってくるのではないのでしょうか。

紙面の都合上、今回応募いただいた全作品を掲載することはできませんでしたが、ご応募いただきました皆さまには改めて感謝申し上げます。

【問い合わせ先】

新見市男女共同参画情報紙編集委員会事務局(総合政策課内)
☎06143